

## 新年度の御挨拶

墨田区立吾孺第二中学校  
校長 駒田 るみ子

年度の初めにあたり、御挨拶申し上げます。吾孺第二中学校は本年度 78 年目を迎える歴史と伝統のある中学校です。また、人権尊重教育推進校として長きにわたる実践を積み重ねており、区のみならず都下においてあるいは全国的にもその取組が知られている大きな特色のある学校でもあります。昨年度は人権教育において、文部科学大臣優秀教職員賞を受けるなど成果を認めていただきました。それに取じないように本年度も引き続き人権尊重教育推進校として取り組みます。

本年度の生徒数は4月1日の時点で新入生が82名、2年生110名、3年生90名、計282名で、通常学校9学級、特別支援学級3学級の編成です。規模の小ささを活かしてきめ細やかな指導を行っています。私は校長として本校6年目になりますが、昨年度は、目指す学校づくり、目指す学校経営の充実期から完成期への転換の年と捉えて学校経営を行いました。本年度はさらに飛躍の年と定め、発展期と考えています。そこで、次の内容に注力します。

まず、本校で脈々と受け継がれてきたよき伝統を守ると共に、デジタル社会の到来による新しい時代の中で、教育の変化を敏感に捉え、学校教育の「不易流行」を熟慮しつつ、教師も生徒も「楽しく主体的に学び、学校全体に『学ぶ意志』がみなぎる学校」を実現します。保護者も地域も巻き込んだ学びの場を創造によって、生徒たちが本校での出会いに感謝し「ここで学べてよかった」と実感できるように、保護者の皆様も「通わせてよかった」と御支援をいただけるように、以下のような学校づくりを目指します。

### <目指す学校の姿>

「楽しく主体的に学び学校全体に『学ぶ意志』がみなぎる学校」「保護者・地域から信頼される学校」

- 「学力向上」確かな学力の定着と向上を目指す学校  
(読み解く力と発信する力の育成、及び深い学びの実践)
- 「気力向上」・「体力向上」豊かな心と健康な身体を育む学校  
(心の教育・体力向上及び健康教育の充実)
- 「家庭・地域連携」保護者や地域の信頼に応える学校  
(学校マネジメントを生かし開かれた学校づくりの推進)

### <目指す生徒の姿>

- 学ぶ意志をもち、「読み解く力」「発信する力」を大切にして主体的に学ぶ生徒(知)
- 規範意識を身に付け、人権を尊重し、交流活動をとおして伝え合い高め合う心豊かな生徒(徳)
- 心身ともに健康で体力向上に努め、困難なことにも粘り強く最後までやりぬく生徒(体)

### <目指す教師の姿>

- 子供が好きで教えることを誇りとし、一人一人の生徒に目を向けて慈しみ育てる教師(慈愛)
- 日々学び続け高い見識と豊富な知識を有し、自らの指導力を高めようと努力する教師(研鑽)
- 教育公務員としての自覚と責任の上に、教育DXに対応し、令和の日本型教育を推進して自己の資質向上のための研修に励み、主体的に学び続ける教師(授業力)

令和6年度もどうぞよろしくお願いいたします。

令和6年4月1日